

9 防疫事業部 総合規程

H-0 2 5 0

0240

防疫班員給與要領

一、俸給額

- (イ) 醫科大學卒業後滿二年臨床經驗者本俸月額約二百圓
- (ロ) 前項二年ヲ超ユル者ニ就テハ年數ニヨリ更ニ考慮ス
- (ハ) 學位ヲ有スル者ニハ前諸項ノ外別ニ考慮ス

二、加俸

在支中ハ派遣加俸トシテ本俸ノ七割ヲ給ス

三、宿舍

派遣中ハ防疫班トシテ宿舍ヲ本會又ハ其ノ他ヨリ之レヲ支給ス  
高等官ニシテ在官ノ儘参加スル者ハ囑託トシテ前配一及二ノ加俸  
ニ相當スルモノヲ手當トシテ増給ス

外務省

18.3

H-0250

0241

第二課

庫

昭和十一年十月十日

第一課長

印

衛生部

印

防疫班員ノ待遇ノ事ニ付

十月十日付内閣府令第一〇七号ニ依り、  
依り、

一 防疫班員中、級初ノ待遇ニ付、  
一 防疫班員中、級初ノ待遇ニ付、

令部陸軍省ノ議決トシ、  
令部陸軍省ノ議決トシ、

外務省

昭和十一年十月十日

H-0250

0242



發信用		執務用	
主信	/	/	/
附	甲		
	乙		
	丙		
	丁		
備考	62		



第一課長 成  
後 米内山領事

文書課長 文書課發送昭和三十二年八月壹日 發送済 淨書 (信)	主 任 第二課長 原 昭和三十三年七月廿七日 正校 (原稿) 谷口 (淨書)	管 主 文化事業部 了 昭和三十二年八月壹日 日附 附屬	受 東 京 市 神 田 区 神 保 町 三 丁 目 十 番 地 同 仁 會 内 臨時社支防疫事業部 代表者 宮川 未次	名 人 信 發 蜂谷文化事業部長	名 件 錄 記
防疫事業部給與規程制定方承認ノ件 昭和三十三年五月二十日附總発第百六十七号ノ里見信ヲ以テ 制定認可方上申相成ノノ里見部給與規程承認 相成ノノ付添ノ知相成通知書申進ス					



(18.2 4) 1 22

H-0250

0244

川口領事  
 回本件ニ深  
 厚  
 JUL 8 · 1938

文化  
 0627  
 郵務部

文化事業部 長 坂 第一課 二 函

總發第六六七號

昭和十三年五月二十日

臨時對支防疫事業部

代表者 宮 川 米 次

外務大臣 宇 垣 一 成 殿

昭和三十二年六月廿七日授受  
 財團 同 仁 會

後 第二課長  
 返要調上

18.8.3  
 政 濟

防疫事業部給與規程ニ關スル件上申  
 臨時對支防疫事業部給與規程別冊ノ通制定致度候條御認許相成度  
 尙本規程ハ來六月一日ヨリ實施致度又同仁會診療救護班ノ諸給與ニ  
 準據致居候  
 (別冊添)  
 (以上)

H-0250

0245

昭和十三年六月

臨時對支防疫事業部給與規程

H-0250

0246

臨時對支  
開作會 防疫事業部給與規程

第一條 本規定ハ東部各地ニ設置シ對支防疫事業部ニ関スル經理並給與事項ヲ定ム

第二條 事業部員ノ俸給給料及加俸左ノ通

- (1) 本 俸 現給額
- (2) 派遣加俸 會長任命者ハ本俸ノ七割額其他者本俸ノ八割額
- (3) 兼務者ニ就テハ特別事情アルモノノ外本給與ヲ行ハズ
- (4) 派遣地ニ於テ任命又ハ雇傭シタル者ニ對シテハ前號ノ加俸ヲ支給セズ

第三條 派遣加俸ハ支那上陸ノ日ヨリ最後ノ支那港灣出發當日又ハ特ニ指定スル期日迄之ヲ給ス

第四條 旅費ハ編成地出發當日ヨリ歸還ノ日迄第一號表旅費定額内ヲ以テ實費支辨スルモノトス  
派遣地ニ醫院所在地又ハ其ノ附近ナルトキハ特令ヲ設クルコトアル

第五條 防疫部編成ノ為メ内地特種職員ヲ招致シタル旅費手當ハ谷醫院東京事務所常務職員ノ給與ニ準據スルモノトス

第六條 支度料ハ第一號表旅費定額ニ定ムル額ヲ出發前支給ス  
但シ編成地出發後ニケ月以内ニ於テ自己ノ都合ニヨリ辭職スルモノハ其ノ半額ヲ返納セシム

第七條 防疫部員ニハ第一號表被服裝具ヲ支給ス  
但シ派遣地ニ醫院所在地又ハ其附近ナルトキハ情况ヲ斟酌シ列ニ定ム

第八條 編成地出發後ニケ月以内ニ於テ自己ノ都合ニヨリ辭職スルモノハ支給品ノ全部ヲ返納セシム  
前各項ニ依ルノ外防疫部ニ要スル諸經費ハ實際ノ必要ニ應ジ且同仁會給與規程ノ準用ニヨリ此テ實費支辨トス

第九條 本經費ノ名稱及整理方法ハ第三號表科目及解疏ニ依リ事業年度區分  
ハ經常諸費ニ同シ

第一〇條 本經費ノ收支ニ関スル決算證明諸報告等ハ凡テ<sup>同任會</sup>當時ノ規定ヲ準用ス  
ルモノトス

第一一條 防疫事業費ハ各本部ノ請求ヲ俾ツテ之ヲ交付ス

第十二條 本經費請求ハ請求元ニ於テ別紙第一様式請求書ニ通テ調製シ防疫部  
提出シ本部ニ於テハ其ノニ通テ<sup>同任會</sup>東京本部ニ送付スルモノト  
ス 但シ至急ヲ要シ電報請求ノ場合ハ事後本手続ヲナシ摘要欄ニ電  
報請求ノ旨記載ヲ要ス

第十三條 資金交付ハ別紙第二様式ニ依リ其ノニ通(一通副)ヲ防疫部本部ニ送  
付ス 但シ必要アル場合現金ハ直接請求元ニ送達スルコトアルベシ

第十四條 資金ヲ受領シタルトキハ別紙第三様式ニ依リ領收證ニ通(副一通)  
ヲ防疫部本部ニ送付シ本部ニ於テハ其ノ内正一通檢印ノ上<sup>同任會</sup>東  
京本部ニ送付スルモノトス

第十五條 本俸及加俸ノ家族渡ヲナサントスルモノハ別紙第四様式ニ依リ請求  
スルヲ要ス 取消シ又ハ変更ヲ要スル場合ハ別紙第五様式ニ依リ其  
ノ月十五日迄ニ之ヲ請求スルモノトス(給與金家族渡其ノ他ニ関ス  
ル取扱事項参照)

第十六條 本規程ハ昭和十三年六月一日ヨリ之ヲ施行ス

第一號表

旅費定額

資格	本部				調劑員	事務員	技術員	通譯	看護婦長
	部長	次長	各課長	各班長					
資格	鐵道及船賃				賃運等一				
車馬賃	日當				賃運等二				
宿泊料	五。〇	四。〇	三。〇	二。〇	費				
宿舎料	四。五	以內	以內			實			
食料	二。五	以內	以錢〇五。一			賃運等二			
支度料	一。二〇	一。〇	八。四	六五円					

備考	技術助手	看護婦	雇員	傭人	
					賃運等三
					以內
					以內
					四。四

一、兼務者ノ旅費ハ上佐ニ依リ支給ス  
 二、日當ハ旅行ノ日數ニヨリ宿泊料食料ハ夜數ニヨリ支給ス但シ汽船内ニ在リテハ宿泊料、食料ヲ支給セサルモノトス  
 三、宿舎及糧食ヲ給セラルル場合ハ宿泊料、宿舎料、食料ヲ支給セサルモノトス  
 四、宿舎ヲ給セラレ糧食ヲ給セラレサル場合ハ食料ヲ支給ス  
 五、糧食ヲ給セラレ宿舎ヲ給セラレサル場合ハ宿舎料ヲ支給ス  
 六、宿泊料及宿舎料ハ同一地ニ滞在三十日ヲ超エルトキハ其ノ超過日數ニ付定額ノ一割、六十日ヲ超エルトキハ其ノ超過日數ニ付定額ノ二割、百日ヲ超エルトキハ其ノ超過日數ニ付定額ノ三割ヲ減ス

備考 ○八貨與品其他文給品ト入	員 郭 子 男	区分	第二覧表 被服 装具
	○○○○○○ 腕作敷毛飯水編卷外衣帽 業 上脚 章衣布布金筒靴絆套袴	品目	
	一三一----- 枚枚枚枚、筒足組枚組個	員数	
	員 郭 子 女	区分	
○○○○○○○○○○ 腕帶帶前着着敷毛飯水靴外衣帽 金 履履 章具 金衣帽布布金筒 套	品目		
一三三三三三二----- 枚、個、枚個枚枚、個足枚枚個	員数		

H-0250

0250

第三號表 防疫部經費收支整理科目及解院

整理科目		解院
本部	(收入)	東京本部ニ於ケル防疫事業ノ為特ニ要スル費用
國庫助成金	(支出)	
防疫事業費	防疫事業費	東京本部ニ於ケル防疫事業ノ為特ニ要スル費用 俸給給付種加俸給付種 特ニ任備セリレ役事ニ付テハ俸給付種 日常病内科 鉄道汽船賃車馬賃支度料等
俸給諸給	俸給諸給	
手當	手當	
旅費	旅費	
醫療防疫費	醫療防疫費	
藥劑材料費	藥劑材料費	
醫療器械費	醫療器械費	
常用器具費	常用器具費	
備品費	備品費	
被服費	被服費	
消耗品費	消耗品費	
圖書印刷費	圖書印刷費	
通信運搬費	通信運搬費	
備品備忘料	備品備忘料	
雜費	雜費	
備品費	備品費	特ニ重要ナル班ノ豫識業務用備品ノ新調補填ノ費用
被服費	被服費	班員支給及貧與被服裝具ノ新調費用
消耗品費	消耗品費	業務用消耗品一切ノ費用
圖書印刷費	圖書印刷費	特ニ重要ナル圖書及宣傳報告等印刷物諸費
通信運搬費	通信運搬費	通信及運搬ニ要スル一切ノ費用
備品備忘料	備品備忘料	班ノ業務及事務ノ為備入運物料及壊室材料等
雜費	雜費	備品備忘料等上ノ費用
雜費	雜費	以上各科目ニ入リタル一切ノ費用

(第二様式)

(昭和 年度) 第 號  
月分経費通知書

科 目	本月分通知額	摘 要
防疫事業費		
俸 給 諸 給		
俸 給		
手 當		
旅 費		
醫療防疫費		
藥劑材料費		
医療器械費		
常用費		
備 名 費		
被 服 費		
消耗品費		
圖書印刷費		
通信運搬費		
備家備取平料		
雑 費		
合 計		

(第一様式)

(昭和 年度) 第 號  
月分経費請求書

科 目	豫算残額	本月分所領額	摘 要
防疫事業費			
俸 給 諸 給			
俸 給			
手 當			
旅 費			
醫療防疫費			
藥劑材料費			
医療器械費			
常用費			
備 名 費			
被 服 費			
消耗品費			
圖書印刷費			
通信運搬費			
備家備取平料			
雑 費			
合 計			



